

夏休み子どもプログラム「レプリカをつくろう」 実施報告

◆日 時：令和4年8月6日（土）

① 10:00～ ②11:00～ ③13:30～ ④14:30～

◆会 場：おたかの道湧水園内（倉のわき）

◆対 象：中学生以下（各回 5 名募集 計：20 名）

◆人 数：① 5 名（1 名大人） ② 5 名 ③ 6 名 ④ 4 名 計：20 名

参加者：中学生以下 19 名（1 名欠席・1 名飛び入り（参加者の姉））

大人（電話受付対応分）1 名

保護者：19 名

◆職員3名 普及ボランティア6名（午前3名・午後3名）

◆概 要

H28 年度より定期的の実施しているレプリカ作成のワークショップである。前回同様、新型コロナウイルス対策として各回の定員人数を縮小し、参加は事前申込制とした。当日は2年ぶりに活動を再開した普及ボランティアと共に運営を行った。

屋外での実施のため、暑さや虫刺され等の会場環境の懸念と、気温が高くシリコン樹脂の硬化スピードが速く、一連の作業行程に慌ただしい場面もあったが、柔軟な資料館見学対応をはじめ臨機応変にボランティアのヘルプが入り、参加者の作成はスムーズであった。

今回も尖頭器・土偶・文字瓦・鎧瓦・鬼瓦（武蔵国分寺跡資料館所蔵品）の小さな型のほかに実物大の打製石斧・縄文土器のかけらの型を用意し、参加者は好みの型を1つ選択（鬼瓦・縄文土器以外は作成時に少量の液体が余ったため、好みのものに加えて尖頭器を追加作成）して作成した。リピーターの参加者もあり、またすべての参加者は保護者同伴で来園し、親子・家族で楽しんでいた様子がうかがえた。子どもだけでなく、保護者も一緒に硬化の様子や色塗りに興味をもち、子どもたちはこだわりのレプリカを完成させたようで、アンケートからも高評価を得ている。

■レプリカの見本



見本（下段）

記録写真



■型に溶液流入作業



■色塗り作業



■参加者作成レプリカ

